

舗装補修はつり作業時のお客様車両の損傷事案



1. 発生日時: 令和2年12月11日(金) 20:30頃
2. 発生場所: 東名阪自動車道 下り線 kp38.3付近
3. 作業内容: 夜間舗装小補修工

4. 事故概要:

舗装小補修工事のため、ブレーカーではつり作業をしていた横を通過したお客様から「規制区間からアスファルト片が飛んできて助手席のドアが傷ついた」とお客様センターに申告があったもの。

5. 被災状況: 負傷者無し

物損被害	当方	無し
	相手方	助手席側ドア損傷

舗装補修はつり作業時のお客様車両の損傷事案

飛散防止ネット状況(左右・前・上方を養生)



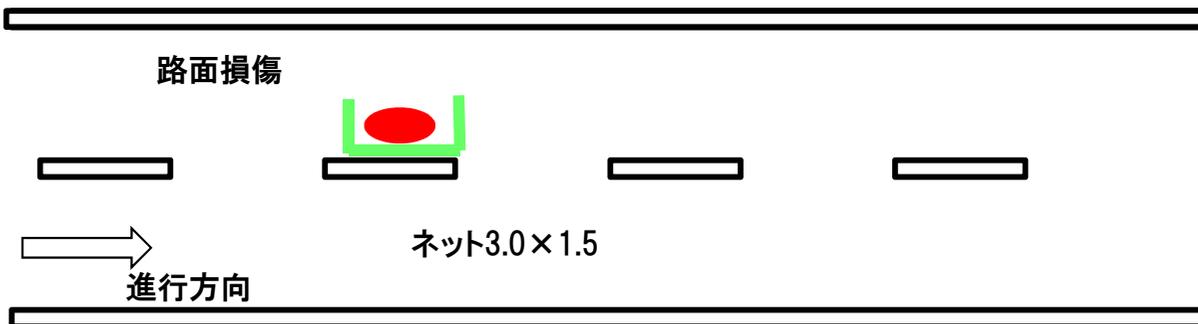
原因

・4箇所施工の内、一カ所の現場が右図のように路面損傷幅(2.5m)がネットの防護幅(1.8m)より大きいことから、ネットの向きを変え、ネット幅を超える部分を合板(H900)で養生。はつり片が合板を超えた、或いは合板のサイドから飛散しと思慮。

今後の対策

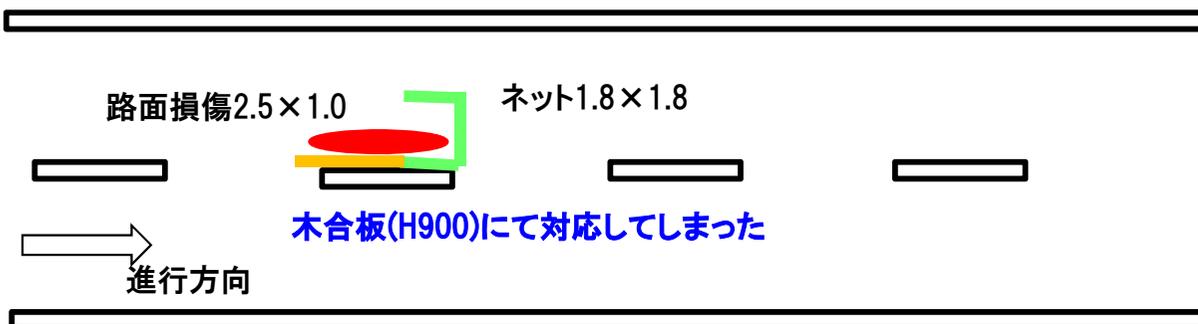
- 1) 事象を発生させた現場は、他の現場班が使用するネット(3.0m×1.5m)よりもワンランク小さいサイズ(1.8m×1.8m)の飛散防止ネットを使用。今後は他現場と同等の飛散防止ネットを使用することとする。
- 2) はつり箇所が装備したネットより大きい場合は、ネットを移動しながら数回に分けてはつり作業を行う。また、はつり箇所の左右・前・上方がネット養生等された状態を確認し作業に取り掛かる。

◎あるべきネット状況(はつり箇所はネットで養生されている)



×AS片飛散現場のネット状況

(ネットのサイド側を車線に向けてネット幅を超えたはつり箇所は合板で防御)



舗装補修はつり作業時の飛散防止対策例(参考)

ネット養生対策以外の飛散対策例(参考)

■(事)及び■(事)は、「ハツリ・ガード」をブレードの先端に装着し、かつ、万がーのため防護ネットを配置してはつり作業を行っています。



ハツリ・ガード

実用新案登録済 登録第3202047号

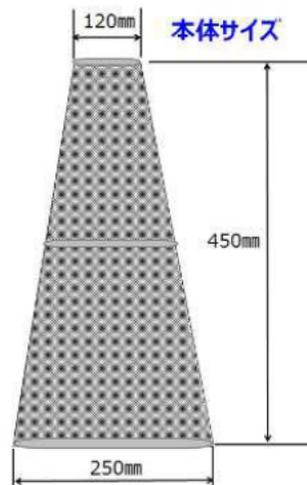


〈特徴〉

- ・ハツリ作業時の飛散を防止する事により、第三者・作業者の安全に配慮。
- ・ブレードに簡単にセットが出来ます。
- ・コンパクト収納が可能、持ち運びが便利です。

〈注意事項〉

- ・本製品はハンドブレードに直接取り付け、飛散の防止を目的とする商品です。それ以外でのご使用は絶対にお止め下さい。
- ・商品に傷み・汚れが出てきた場合は、新しい商品に交換してご使用下さい。



ブレードでのハツリ作業等では、ハツリ片が飛散して第三者や作業者に当たってしまう危険性があります。この『ハツリガード』は、ブレードに簡単に取り付けられ、コンパクトで持ち運びに便利で、飛散防止効果がバツグンです！

〈取付手順〉

商品をセット



取り付けはバンドで簡単



メッシュ加工なのでノミ先も目視出来ます



不要時は商品を捲り、クリップに掛けて使用

